

アナログプレイヤーの比較試聴(9)

—モーツアルトを聴く(9)—

1. 始めに

前報(8)に引き続き、アナログプレイヤー3機種と比較試聴を実施していきます。

2. アナログプレイヤーの比較試聴方法

アナログプレイヤー3機種の試聴経路は前報(1)と同様です。

音源は、モーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回は弦楽五重奏です。

Columbia XL5132

モーツアルト 弦楽五重奏曲ニ長調

弦楽五重奏曲ハ短調

ブダペスト弦楽四重奏団

ミルトン・カティムス (第二ヴィオラ)

3. アナログプレイヤーの比較試聴結果

古いモノラル録音盤で盤質もよくありません、

ZANDEN Model120 経由の LINN LP-12 と Grrad401 では、Columbia、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

ThorenTD124 の再生では、古いモノラル録音盤で盤質もよくないことから音質を評価することは難しいのですが、ブダペスト弦楽四重奏団の緊張感のある演奏は伺い知ることができます。

LINN LP-12 の再生では、ThorenTD124 より細目の音で緊張感も伝わってきます。

Grrad401 の再生では、LINN LP-12 とよく似た再生音ですが、やや厚みのある音になっています。

4. まとめ

3機種3様の再生パフォーマンスが確認できましたが、盤質もよくないモノラル録音盤ですが、なんとか演奏の状況は聴き取れます。

以上